

府中市が進める インフラマネジメント の紹介



平成 3 1 年 1 月版

インフラマネジメントって何・・・？



■ インフラとは・・・

道路、橋、公園、下水道など、都市の基盤となる施設をインフラといいます。インフラは、私たちの日々の暮らしを支える重要な役割を担っています。

■ インフラマネジメントとは・・・

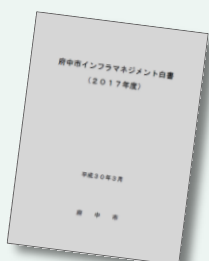
府中市が管理するすべてのインフラを対象に、安全の確保を前提として、効率的かつ効果的な管理を行うことで、コスト削減を実現していく取組です。

点検や調査によって把握したインフラの状態（健全性）を『白書』として取りまとめるとともに、課題への対応や今後の取組を『計画』に盛り込んでいます。

社会情勢の変化などに対応するため平成29年度と平成30年度に見直しました！

『インフラマネジメント白書』

府中市が管理するインフラの状態（健全性）を把握した結果や、将来の管理経費の予測結果を示した冊子



『インフラマネジメント計画』

『白書』で明らかになったインフラの現状に対して、課題への対応や今後の取組を提示した冊子

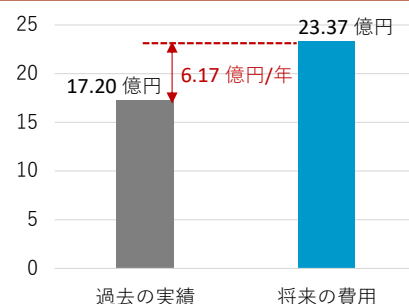


なんで必要なの・・・？

府中市は、昭和30年代～昭和40年代の高度経済成長期に多くのインフラを整備し、市民生活の根幹を担うものとして、管理を行ってきました。

しかし、インフラの多くが整備後40年以上を経過し、老朽化が進行しています。老朽化したインフラは大規模な修繕や更新（新たな構築）が必要となります。そのため、今後の管理に係る費用は膨大なものとなり、現状の市の財政事情では、すべてのインフラをこれまでと同様に管理し続けていくことができません。

『白書』の試算では、将来の費用が過去の実績と比べ、**6.17億円/年**も多く必要という結果になった。



- 老朽化した事例 -



道路の舗装がひび割れ、穴が開いた事例



公園遊具の手摺が折れた事例



下水道管きよの老朽化の事例

府中市は全国でも先進的なインフラ管理の取組をしています

■ インフラマネジメント計画の目標・視点・施策

【目 標】 インフラを市民共有の財産として、良好な状態で、
過度な負担を残すことなく、次世代に引き継ぎます

【基本的な考え方】

【安全性の確保】

インフラを良好な状態で次世代に引き継ぐため、安全性を確保します

【財政負担の軽減】

次世代に過度な負担を残さないため、インフラを適正な数量にすることで、財政負担の軽減等を図ります

【取組の推進体制の構築】

課題の解決に向けて、公共施設とインフラの対策に連携して取り組むなど、取組の推進体制を構築します

インフラマネジメントの視点

1) インフラの状況・公共サービスのニーズに応じたマネジメント

今後必要な機能、配置及びサービスを検討

2) 中長期的なマネジメント

予防保全型管理の推進による長寿命化

3) 財政への影響を踏まえたマネジメント

歳入確保と維持管理・補修更新経費の削減

4) 実施体制を想定したマネジメント

関係部署間との調整・合意形成を行う体制

5) 市民及び民間事業者との協働によるマネジメント

インフラ管理全体、維持管理、補修更新の施策を実施し、歳入を増やすとともに、歳出を削減します。

①インフラ管理全体

- ・ サービス料金の適正化
- ・ 新たな歳入手法の導入
- ・ 道路占用料の適正化

インフラ管理の施策 (主な施策)

②維持管理

- ・ 道路等包括管理事業
- ・ インフラマネジメントシステムの活用
- ・ インフラ管理ボランティア制度

③補修更新

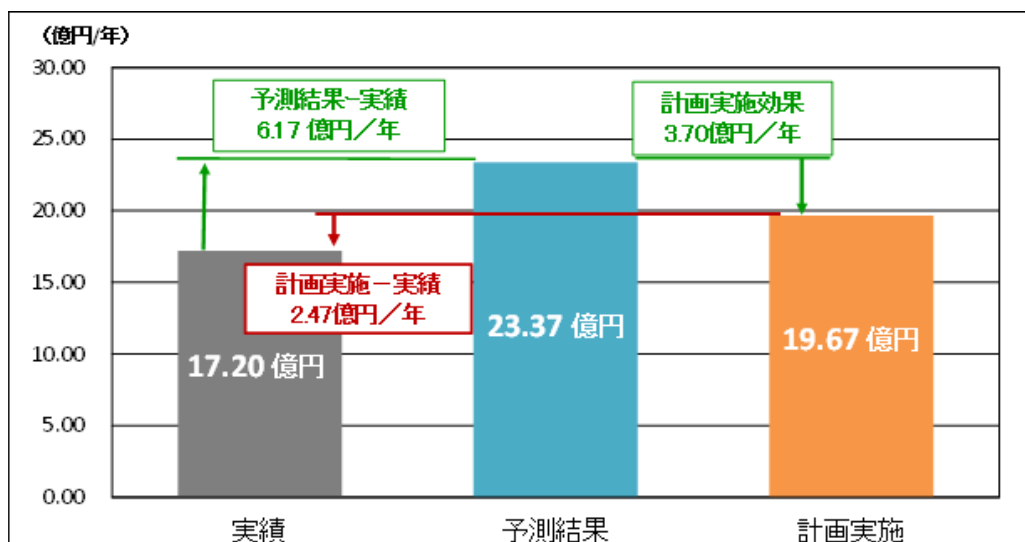
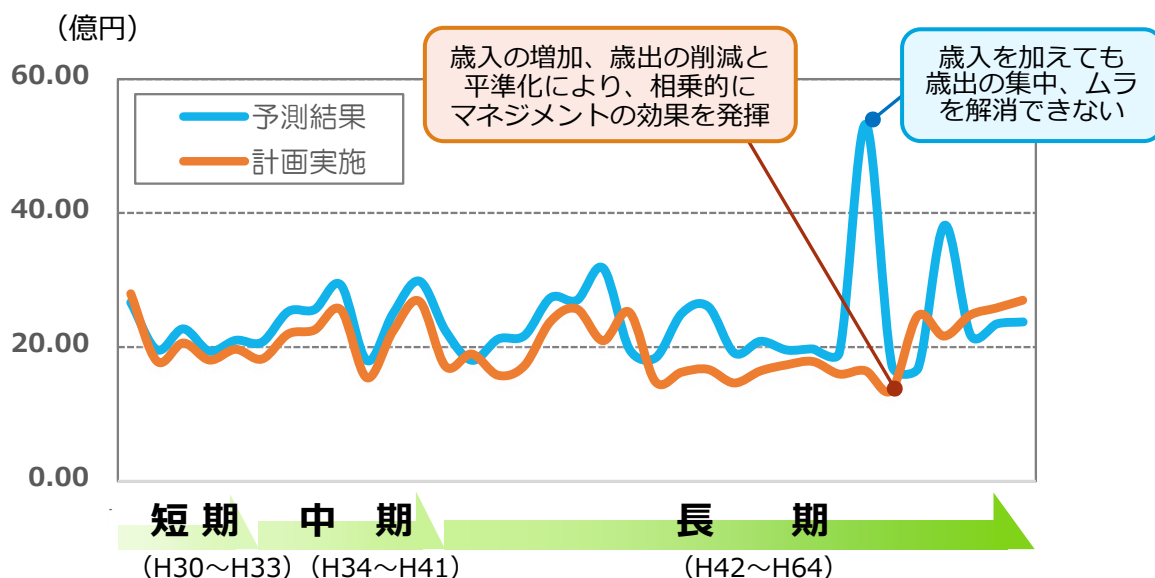
- ・ 定期的な点検の実施
- ・ E S C O事業の導入
- ・ 長寿命化修繕計画の策定

■ インフラマネジメント計画による効果

インフラマネジメント計画を着実に実施することにより、適切な状態を維持したうえで、市の財政負担を軽減することが可能となります。

計画を実施することで、市の歳入額は年間 0.64 億円の増加、歳出額は 3.06 億円の削減となり、合わせて 3.70 億円の効果が見込まれます。

計画期間（平成 30 年度～平成 64（2052）年度）中の予測経費の比較



実績：『インフラマネジメント白書』より算出した実績額

予測結果：『インフラマネジメント白書』より算出した予測経費

計画実施：インフラマネジメント計画による施策の効果を反映した費用

インフラマネジメント計画の実施による効果として、インフラ管理全体における歳入の確保、並びに維持管理及び補修更新における歳出の削減があります。

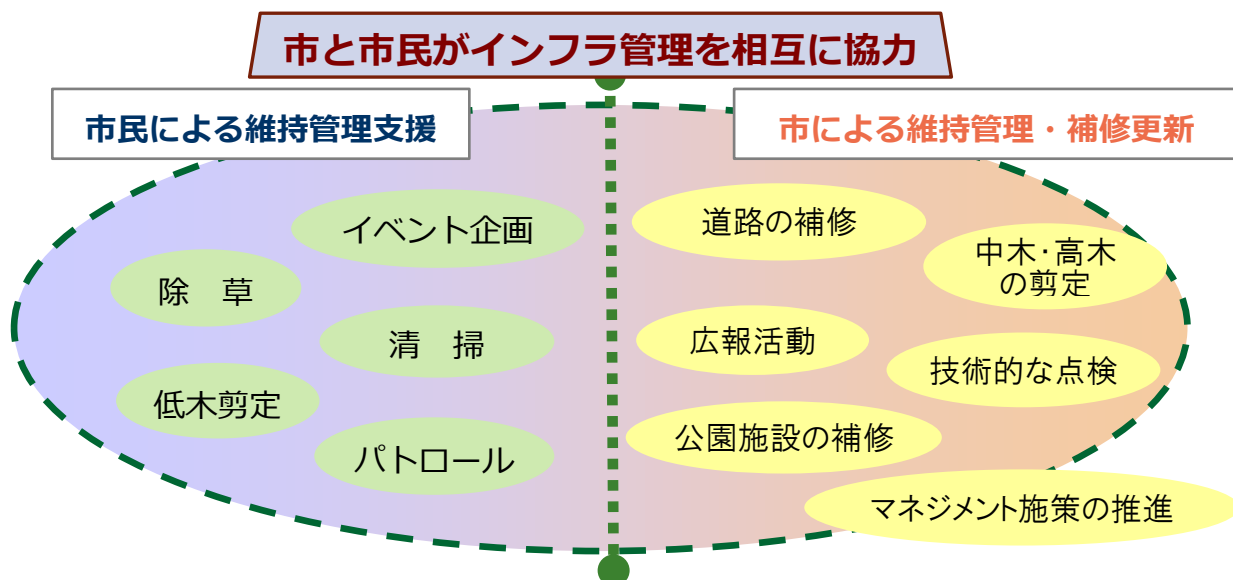
このうち維持管理における取組には、道路等包括管理事業の実施、街路樹や公園樹木の間引き、街路灯・公園灯のESCO 事業の導入などが、補修更新における取組には、車道の舗装や橋りょうの長寿命化などが挙げられます。

今のままインフラを維持管理するには、毎年 6.17 億円、35 年間で約 220 億円も経費が不足します。しかし、計画の取組を推進することで、不足を毎年 2.47 億円、35 年間で約 87 億円に抑えることができます。

■ 継続的なインフラ管理には、地域の皆様の協力が必要です。

府中市インフラマネジメント計画（２０１８年度）では、市が計画したことをすべて実行しても、年間で約 2.47 億円の管理経費が不足してしまうことを想定しています。

しかし、不足を解消するためにインフラ自体を無くすことは難しいため、府中市では、「市で行うべきこと」、「地域の方々や市内の事業所の方々に協力いただけること」で作業を分担し、市民共有の財産であるインフラに愛着を持っていただけるよう、皆様との協働を進めます。



- 【市で行うべきこと】
- 1 専門的な作業が必要な道路などの工事
 - 2 大径木の間引きによる樹木の健全な成長と管理経費の削減 など



【皆様に協力いただけること】 インフラ管理ボランティア制度（府中まちなかきらら） など

制度の内容 市民個人や団体、市内事業所ごとに登録できる、市が管理するインフラを対象とした清掃ボランティア制度です。



協働による維持管理にご協力をお願いします。

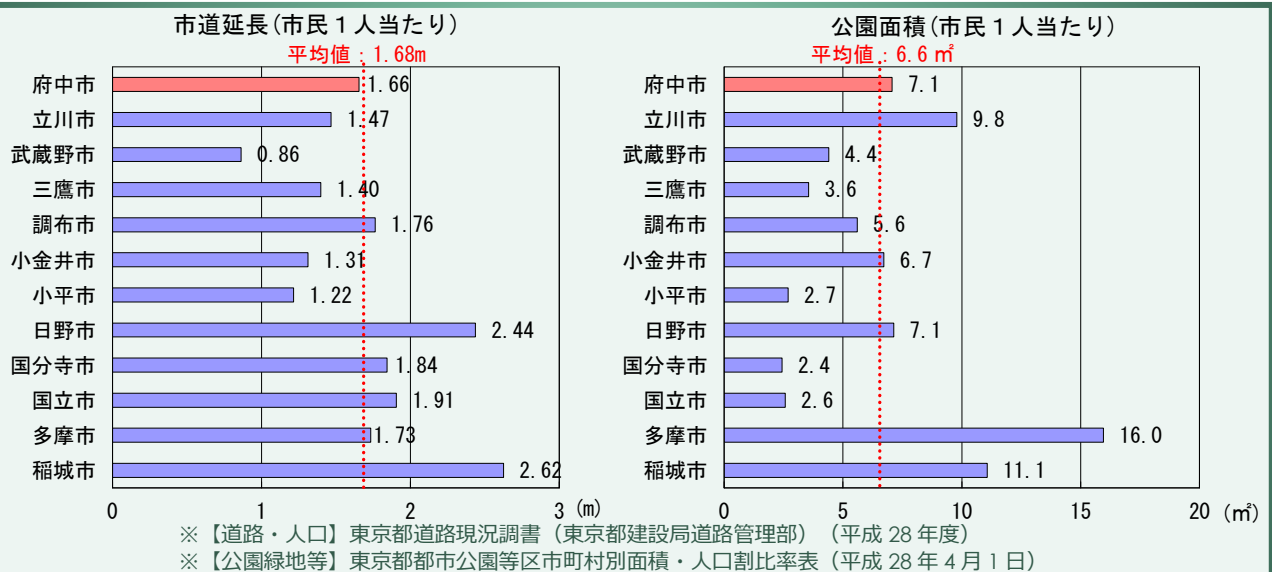


■ 府中市の管理するインフラの量

道 路 等	施 設	数 量	公 園 等	種 別	箇所数
	車道（幹線・一般道路）	2,430 路線		都市公園	274 箇所
	歩道	170.283km		スポットパーク	35 箇所
	植樹ます	2,532 箇所		広 場	40 箇所
	標識（施設案内など）	1,238 基		府中多摩川かぜのみち	1 箇所
	街路灯	17,644 基	法定外公共物	その他の管理地	46 箇所
	カーブミラー	3,113 基		種 別	面 積
	街路樹	10,488 本		赤 道	86,759 m ²
	橋りょう（道路橋・歩道橋）	36 橋	下 水 道	水 路	169,467 m ²
	ペDESTリアンデッキ	2 箇所		市有通路	55,596 m ²
	エレベーター	7 基		流 域	延長
	エスカレーター	4 基		北多摩一号処理区	734,354m
	大型構造物（擁壁など）	26 箇所		野川処理区	18,054m

※平成28年度時点

■ 他市の管理するインフラの量との比較（道路延長・公園面積）



「府中市インフラマネジメント白書・計画」は、市庁舎3階市政情報公開室、中央図書館、市のホームページでご覧いただけます。また、次の場所で販売をしています。

販売場所：市庁舎1階市民相談室、市政情報センター
販売価格：白書 2,000 円、計画 1,500 円

府中市都市整備部管理課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地

電話(042)335-4430 FAX(042)335-0499

E-mail tosikanri05@city.fuchu.tokyo.jp